

## 大学の世界展開力強化事業

1. 創設年度：平成23年度

2. 令和6年度予算額：13.4億円

3. 事業概要

国毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援し、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進する。支援期間は原則5年間。〈補助〉

4. 選定理由：ア（アウトカムの設定など、EBPM的観点から点検する必要があるもの）  
カ（その他公開の場で外部の視点による点検を行うことが有効と判断されるもの）

本事業については、各国の大学と単位の相互認定や成績管理、共同学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援し、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入れを推進することを目標としているが、成果指標においてアウトプットは採択プログラムにおける日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受け入れ数の合計、アウトカムは対象プログラムにおける単位付与を伴う日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計や、中間評価・事後評価でのA評価以上の件数となっており、適切な検証が可能となっているか不明確であることやコロナ禍におけるオンライン交流に対する評価の妥当性などから、これまでの事業成果と今後の事業展開の在り方について、検証する必要があるため。

また、公開の場で外部有識者の幅広い視点や専門性を活用して本事業の目的に対する成果や効果を検証することで、今後どのような取組を推進していくことが重要かを幅広い視点から検討していくことが有効であると考えられるため。

5. 想定される論点

- ・ 目的を達成する上で、事業の実施方法が効果的なものとなっているか。
- ・ 事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和5年度）

（短期アウトカム）・対象プログラムにおける単位付与を伴う日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計（人）

（長期アウトカム）・中間評価・事後評価でのA評価以上の件数（件）

# 大学の世界展開力強化事業

令和6年度予算額（案）	13億円
（前年度予算額）	13億円
令和5年度補正予算額	10億円

## 概要

- 世界的に学生の交流規模が拡大する中において、我が国にとって重要な国・地域の大学と質保証を伴った連携・学生交流を戦略的に進め、国際的通用性を備えた質の高い教育を実現するとともに、我が国の大学教育のグローバル展開力を強化する。
- 令和6年度は、既存の採択課題を着実に推進するとともに、G7教育大臣会合（令和5年5月）等を踏まえ、教育研究力の高い大学を多く有するEU諸国と大学を軸とした人的交流を強化し、EUが経済安保の重点分野としているAI、量子、半導体、バイオの分野における修士レベルの単位互換プログラム策定・実施を支援する。また、令和5年に友好協力50周年を迎えたASEAN諸国との関係強化は一層重要性が増しており、キャンパス・アジアプラス（令和3年度～）の取組を拡充し、オンラインコンテンツ（令和5年度補正予算事業）を活用しつつ、学生交流の拡大を図る。

【教育未来創造会議第二次提言〈未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ〉（令和5年4月27日）】

- 戦略的に留学生交流を推進すべき国・地域との大学間連携・学生交流を推進する。
- COIL、VE等のオンラインを活用したハイブリッド国際交流を推進する。

※COIL：国際協働オンライン学習、VE：バーチャル・エクステンジ

【G7教育大臣会合富山・金沢宣言（令和5年5月15日）】

- 大学間の国際ネットワークの進展・深化を通じた質の高い国際交流・国際頭脳循環の活性化を図る。
- ICTを活用した交流の促進、国境を越えたオンライン学習コンテンツの共有などを推進する。

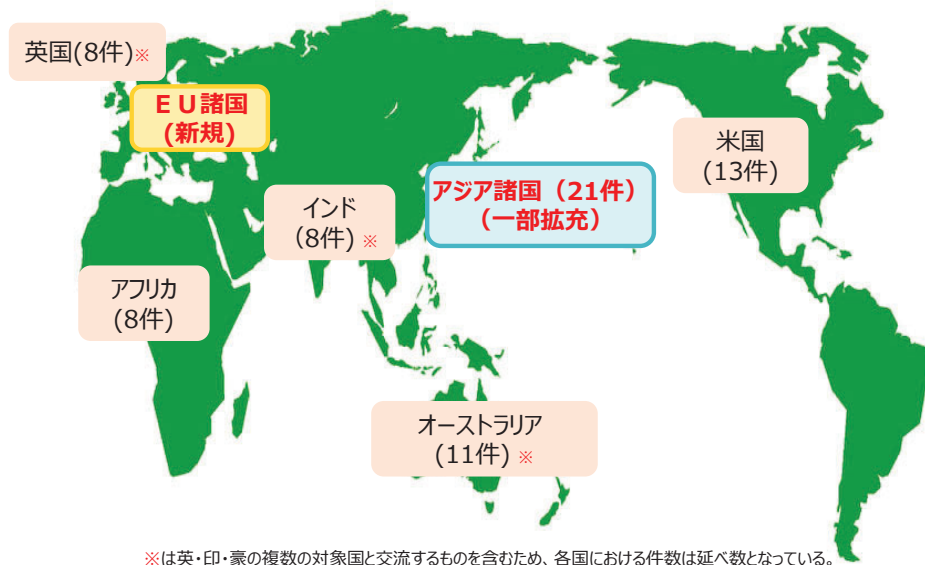
## 事業内容

- 地域毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援
- これら質の保証を伴ったプログラムにより、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進（事業期間：最大5年間）

## 取組例

- ✓ 先導的・大学間交流モデルの開発
- ✓ 高等教育制度の相違を超えた質保証の共通フレームワークの形成
- ✓ 単位の相互認定、共通の成績管理の実施
- ✓ 学修成果や教育内容の可視化
- ✓ 国際共修、インターンシップ、オンラインを活用した国際協働学習等

補助期間	対象国	採択件数
令和2年度～6年度	アフリカ	8件
令和3年度～7年度	アジア諸国（キャンパス・アジアプラスを含む）	21件
令和4年度～8年度	インド太平洋地域等（英・印・豪）	14件※
令和5年度～9年度	米国	13件
令和6年度～10年度	EU諸国（新規）	8件程度



## 成果

- 学生交流増により、2033年までに外国人留学生40万人受入れ、日本人学生50万人海外派遣の目標達成への貢献
- 海外連携大学との教育プログラム構築・実施に伴う我が国大学のグローバルな展開力の強化
- 交流の相手国・地域との平和的友好関係の強化

# 大学の世界展開力強化事業プログラム一覧

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028

## キャンパス・アジア (モード1) & ASEAN & 米国等

25件、22機関 (実績: 派遣4,820人、受入3,604人)

ASEAN 14件、15機関 (実績: 派遣3,744人、受入3,109人)



### AIMSプログラム※

※東南アジア教育大臣機構が実施する学生交流プログラム  
7件、11機関 (実績: 派遣758人、受入812人)

### ICI-ECP ※

※日EU共同学生交流プログラム

5件、15機関 (実績: 派遣132人、受入144人)



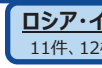
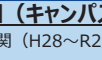
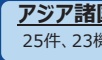
### ロシア・インド (H26採択)

9件、8機関 (実績: 派遣1,170人、受入1,296人)



### 中南米 & トルコ

11件、21機関  
(H27~H30実績: 派遣1,207人、受入1,324人)



### 米国等 (COIL型)

10件、13機関 (H30~R4実績: 派遣 5,080人、受入 4,343人)



### EU

3件、5機関 (R2~R4実績: 派遣35人、受入100人)

R5 計画: 派遣24人、受入28人

※R1は準備期間のため、派遣・受入なし

### アフリカ諸国

8件、10機関 (R2~R4実績: 派遣515人、受入644人)

R5~R6 計画: 派遣412人、受入396人

### アジア諸国 (キャンパス・アジアモード3を含む)

20件、19機関 ※他、ルールメイキング事業としてNIADを選定

(R3~R4実績: 派遣1,117人、受入1,473人)

R5~R7計画: 派遣2,426人、受入3,182人



### インド太平洋地域 (英・印・豪) 等

14件、17機関 (R4実績: 派遣620人、受入861人)

R5~R8計画: 派遣3,857人、受入4,727人

### 米国等

13件、16機関

(R5~R9計画: 派遣38,514人、受入18,172人)

### EU諸国等

8件程度

※機関数は、日本側参加機関 (短期大学等を含む)

## 交流実績 (延べ) 2011年~2022年

派遣 約24,000人

受入 約22,000人



令和5年度行政事業レビューシート				（ 文部科学省 ）								
事業名	大学の世界展開力強化事業		担当部局庁	高等教育局	作成責任者							
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)	参事官(国際担当) 小林 洋介						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する 計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)、「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)、「留学生30万人計画」(平成20年7月29日)、「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」(令和5年4月27日教育未来創造会議第二次提言)								
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	教育振興助成費								
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上											
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisek02-000017742-4_1.pdf											
事業の目的 (5行程度以内)	我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援することで、高等教育のグローバル展開力の強化を図る。											
現状・課題 (5行程度以内)	教育未来創造会議の第二次提言(令和5年4月27日)も踏まえ、より質の高い留学生交流と日本人学生の中長期の海外派遣の拡大、優秀な留学生の獲得に向け、多様な学生が切磋琢磨できる環境の醸成による教育環境の活性化、国際頭脳循環の実現、更なる国際教育連携ネットワークの構築に向けて、国内大学等の国際化を図ることが必要である。このため、コロナ禍で停滞した留学を、オンラインも活用しつつ、質保証を伴った教育プログラムとして回復・伸長させ、真のグローバル人材を育成する新たな国際教育環境モデルを構築することも重要となる。											
事業概要 (5行程度以内)	○国毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援し、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進。 ○平成23年度に「キャンパス・アジア中核拠点形成支援」と「米国大学等との協働教育創成支援」を、平成24年度に「ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」を、平成25年度より「海外との戦略的高等教育連携支援(欧州・AIMS)」を、平成26年度に「ロシア、インド等との大学間交流形成支援」(平成29年度に拡充)を、平成27年度に「中南米等との大学間交流形成支援」を、平成28年度に「アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化」を、平成30年度に「COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援」、令和元年度に「日-EU戦略的高等教育連携支援」を、令和2年度に「アフリカ諸国との大学間交流形成支援」を、令和3年度に「アジア高等教育共同体(仮称)形成促進」を、令和4年度に「インド太平洋地域との大学間交流支援」を開始。 ○公募により、国公私立大学を通じて競争的に選定、重点的な財政支援を行う。支援期間は原則5年間。【定額補助】											
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/sekaienkai/											
実施方法	補助											
補助率等	補助期間終了後は自立的に事業を継続することを前提に、補助期間最終年度へ向け補助額の通減を予定。											
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	1,198	令和3年度	1,007	令和4年度	1,055	令和5年度	1,347.7	令和6年度要求	2,170
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	43	80	170	49	-	-				
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 80	▲ 170	▲ 49	-	-	-				
		予備費等(E)	▲ 23	▲ 31	-	-	-	-				
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,138	886	1,176	1,396.7	2,170	-				
		執行額(G)	1,053	828	1,153	-	-	-				
		執行率(%) =(G)/(F)	93%	93%	98%	-	-	-				
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	88%	82%	109%	-	-	-				
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
		(項)	高等教育振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
(目)	国際化拠点整備事業費補助金	1,346	2,169	※既存事業については、5年間の補助期間の中で、開発した国際教育プログラムを大学による自立的運営につなげていく観点から、原則として補助金支援額は通減させていく。令和6年度は新規事業としてEU諸国・ASEAN諸国等との大学間交流形成支援を実施予定であり、新規事業費として1,000百万円を要望(2,170の内数)。 ※重要政策推進枠 1,000百万円								
(目)	職員旅費	1	1									
(目)	委員等旅費	0	0									
(目)	庁費	0	0									
(目)	諸謝金	0	0									
(目)	その他	0	▲ 0									
計(A)		1,347.7	2,170									

活動内容① (アクティビティ)	我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を行う大学に対し、事業期間中の中間評価と毎年のフォローアップ活動を実施するとともに、プラットフォーム構築を後押しすることで交流事業を促進する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	双方向の交流によるキャンパスの国際化	採択プログラムにおける日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計	活動実績	人	3,053	4,392	-	-	-	
			当初見込み	人	3,168	2,845	2,980	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	海外連携大学との信頼関係を構築しつつ、質の伴った大学間・学生交流を進める中で、学生交流数の中でも、単位付与を伴う交流が増加していくことが目的達成につながると考え、短期アウトカムとして設定している。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	海外連携大学と双方向の交流による キャンパスの国際化	対象プログラムにおける単位付与を伴う日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計	成果実績	人	1,183	1,475	-	-		
			目標値	人	1,113	2,165	-	-		
達成度	%	106.3	68.1	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	採択大学に対するフォローアップ調査									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	各採択プログラムの進捗状況等について評価を行う中間評価や事業の成果について評価を行う事後評価においては、各採択プログラムにおいて目標とされた学生交流の実現について、その内容・数的結果等について有識者により総合的に判断されるため、事業全体が目標に到達していればA評価以上を取得でき、双方向の交流によるキャンパスの国際化が実現できたものと考えられるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	採択プログラムにおける目標の達成	中間評価・事後評価でのA評価以上の件数(年度毎の評価対象プログラムのみ)	成果実績	件	21	27	17	-		
			目標値	件	21	28	19	-		
達成度	%	100	96.4	89.5	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業の中間評価・事後評価結果									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
-										
アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									チェック	

事業に関連するKPIが定められている開離決定等	名称	-																							
	URL	-																							
	該当箇所	-																							
<b>事業所管部局による点検・改善</b>																									
点検結果	・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・令和4年度は、インド太平洋地域等との大学間交流形成支援として14件のプログラムを新たに採択し、質の保証を伴った国際教育連携の推進に取り組んでいる。														目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)										
	-														-										
改善の方向性	・今後、採択大学における学生交流プログラムの好事例を全国の大学に波及させ、海外の大学との大学間交流を促進し、質の保証を伴った国際教育連携を推進する。																								
<b>外部有識者の所見</b>																									
外部有識者による点検対象外																									
<b>行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見</b>																									
現状通り	この事業は、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビュー推進チームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられ、引き続き経費内容等について確認を行いつつ、適正かつ効率的な予算執行に努めること。																								
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>																									
現状通り	-																								
過去に受けた指摘事項と対応状況	<b>公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ</b>																								
	-																								
	<b>上記への対応状況</b>																								
	-																								
	<b>その他の指摘事項</b>																								
	-																								
	<b>上記への対応状況</b>																								
-																									
<b>備考</b>																									
-																									
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>																									
平成23年度	新23-0023																								
平成24年度	163																								
平成25年度	140																								
平成26年度	143																								
平成27年度	132																								
平成28年度	132																								
平成29年度	136																								
平成30年度	137																								
令和元年度	文部科学省	-		0132																					
令和2年度	文部科学省			0143																					
令和3年度	2021	文科	20	0154																					
令和4年度	2022	文科	21	0153																					

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省  
1,039百万円

「大学の世界展開力強化事業」プログラム委員会の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、これら大学に対し、国際化拠点整備事業費補助金を交付。

【補助金等交付】

A. 大学等(全56件)  
1,002百万円

本事業の目的に基づき、それぞれ我が国にとって戦略的に重要な国・地域の大学との教育プログラムの開発・実施を行う。

【補助金等交付】

B. (独)日本学術振興会  
38百万円

本補助金事業の選定に係る審査、評価、モニタリング等の業務を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費・謝金	特定研究員、特定助教、事務補佐員等	20	人件費・謝金	審査部会、書面審査等	18	
その他	交流学生渡航支援費用・データベース管理経費等	14	その他	会議記録外注費等	14	
物品費	フィールド調査実習用品・オンライン授業用教材等	4	旅費	事務打ち合わせ・会議出席	4	
旅費	海外連携大学訪問、海外連携大学教員招聘旅費等	2				
計		40	計		36	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人京都大学(国立大学法人東京外国語大学)	3130005005532	アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のための国際連携教育プログラム	40	補助金等交付	-	-	
2	学校法人関西大学	6120905001356	グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム	33	補助金等交付	-	-	
3	学校法人慶應義塾	4010405001654	Japan-EU高度ロボティクスマスタープログラム(JEMARO)	30	補助金等交付	-	-	
4	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	ポストSDGs時代の経済安全保障に貢献できる自律協働型国際プロフェッショナル人材育成	29	補助金等交付	-	-	
5	学校法人五島育英会	7011005000358	アジア大洋州国際キャンパスにおけるカーボンニュートラル社会の実現に貢献できる人材養成プログラム	29	補助金等交付	-	-	
6	学校法人清名山手学院(学校法人谷岡学園、学校法人宮崎学園)	5140005010901	産学官連携ベンチャー・エコ・システム創成による起業家育成カリキュラムの展開	29	補助金等交付	-	-	
7	国立大学法人お茶の水女子大学	3010005007400	グローバルリーダー育成のための「女子大学発」実学型EDIプログラム	29	補助金等交付	-	-	
8	国立大学法人東京外国語大学	4012405001287	歴史と公共圏を鍵概念として日欧相互理解を深める国際人材育成プログラム	28	補助金等交付	-	-	
9	国立大学法人豊橋技術科学大学(国立大学法人宇都宮大学、国立大学法人千葉大学)	1180305003290	近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム	28	補助金等交付	-	-	
10	国立大学法人広島大学	1240005004054	国際協働学習を通じて醸成するアジャイル・アントレプレナーシップ	25	補助金等交付	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	